議　事　録

会　議	裾野市廃棄物減量等審議会　第１回審議会		
日　時	令和８年 10 月 16 日（金）　16 時 00 分～18 時 05 分		
場　所	裾野市役所４階　401 会議室	公開の可否	可・不可・一部不可
事務局	裾野市生活環境課	傍聴者数	０人
議　題	＜議事次第＞ １．　開会 ２．　委嘱状交付 ３．　市長あいさつ ４．　審議委員紹介 ５．　会長及び副会長の選出 ６．　諮問 ７．　会長あいさつ ８．　審議 議事　裾野市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて １．裾野市一般廃棄物処理基本計画について ２．裾野市のごみ処理の状況 ３．当初計画の概要と計画に基づく取り組みの評価 ４．一般廃棄物処理基本計画の見直し方針について ５．生活排水処理基本計画について ９．　その他 次回審議会と今後のスケジュールについて 10.　閉会		
配布資料	■事前送付資料 ・令和８年度第１回廃棄物減量等審議会　審議資料 ・裾野市一般廃棄物処理基本計画（骨子案） ■当日配布資料 ・第１回　裾野市廃棄物減量等審議会　次第 ・令和８年度　裾野市廃棄物減量等審議会委員名簿 ・意見提出票 ・裾野市廃棄物減量等審議会　今後のスケジュール予定 ・裾野市一般廃棄物処理基本計画（令和４年３月）		
出席者	＜審議委員＞ ８名 欠席 １名	＜裾野市＞ 市長 ＜事務局＞ 環境市民部長 生活環境課職員　４名 美化センター職員　２名	

内　容	
事務局（志村）	1．開会 2．委嘱状交付 ・市長より委員８名に委嘱状を交付した。
市長	3．市長挨拶 ・村田市長が、廃棄物減量等審議会開催にあたっての挨拶を行った。
事務局（志村）	4．審議委員紹介 ・審議委員名簿に沿って審議委員の自己紹介。併せて事務局職員の自己紹介。 5．会長及び副会長の選出 裾野市廃棄物減量等審議会の条例で第５条に委員の皆様の互選により会長、副会長を定めることができることとなっております。いかがでしょうか。
事務局（藤田）	本日初日となりますので、事務局の方で腹案を用意しております。皆様からご了承いただけましたら会長、副会長として選任させていただきたいと思います。
一同	異議なし。
事務局（藤田）	事務局案としましては鈴木正次様を会長、江本輝彦様を副会長に推薦いたします。
一同	異議なし。
事務局（志村）	それでは会長を鈴木様、副会長を江本様にお願いいたします。 6．諮問
市長	・市長より裾野市廃棄物減量等審議会へ諮問。 会長及び委員の皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。 ～市長退席～
	7．会長挨拶　（鈴木正次会長）
事務局（志村）	それでは鈴木会長からご挨拶をお願いいたします。
鈴木会長	・鈴木会長が、裾野市廃棄物減量等審議会会長就任にあたっての挨拶を行った。 8．審議
事務局（志村）	議事進行は会長にお願いします。よろしくお願いいたします。
鈴木会長	それでは私の方で進行させていただきます。一般廃棄物処理基本計画が5年前に策定され、10年目標の中間年度であるため見直すものです。中間見直しでありながらも結構ボリュームがありますので皆さんからいろんあ意見した抱きながら審議をしていきたいと思います。それでは次第に従い進めさせていただきます。まず、そのうちの１．裾野市一般廃棄物処理基本計画について事務局の方から説明を求めます。
事務局（藤田）	１．裾野市一般廃棄物処理基本計画について 【裾野市一般廃棄物処理基本計画の位置づけ等概要についてを事務局より説明】
鈴木会長	ただいま事務局から説明がありましたが、何か質疑等がありますでしょうか。 （質疑なし） 続いて、２．裾野市のごみ処理に状況について事務局から説明を求めます。
事務局（藤田）	２．裾野市のごみ処理の状況 【裾野市のごみの分別方法、処理フロー等について事務局より説明】
眞田(喜)委員	この5年間で大きく状況が変わっている。もともとペットボトルは北九州などで火力発電等の焼却用のエネルギー源とされていたが、現在は県内の事業者に搬入して再生され資源に生まれ変わっている。紙も同じで大阪万博にも参画した県内事業者に搬入することで、ほぼほぼ100%紙資源のリサイクルができるようになっている。市にはしっかり取り組んでいもらっているが、市民がなかなか分別が行き届かなくて、思うようにごみの減量につながっていない。今よりも資源に回せるものをしっかり分別することですぐに減量することができる。
鈴木会長	続いて、３．当初計画の概要と計画に基づく取組の評価について、事務局からの説明を求めます。
事務局（藤田）	３．当初計画の概要と計画に基づく取組の評価について 【当初計画の概要と一部の取組の内容について事務局より説明】
鈴木会長	皆さんから何かありますでしょうか。
眞田委員	広域化計画について、広域化の枠組みから長泉町が脱退したが、裾野市では長泉町と

内　容	
	の話し合いの場は持たれたのか。前回の審議会で、熱海市にもっていくのであれば距離があり大変であるが、長泉町と裾野市とで新しい処理施設をつくれば負担の軽減につながるのではという私の考えを伝えたが、その時点ではそのような考えはないとのことだった。ここで長泉町が脱退したので、新たに検討を進めたのか伺いたい。
木村委員	先ほど市長からのあいさつの中でそのような話があったのでいろいろと検討してもらっているのだと受け止めた。
事務局（志村）	現在、裾野市は3市2町の枠組みには入っており、今後事務局レベルの会議もある。参加不参加については、令和9年1月までに市としての方針決定をしていくことになる。一方で、民間との連携も情報収集を含めて並行して進めている。
杉山部長	大きな流れとしては3市2町での検討があるが、それ以外にもどのようは方法が最善であるか検討する中で公民連携であったりと、あらゆる可能性の選択肢を事務方として持って進めている。
眞田委員	それであれば、なおのこと長泉町の考え方を聞いて、一緒にやるかどうかは別にして選択肢として考えていってもらいたい。
鈴木会長	先ほど事務局から説明のあった取組の評価について、「見直し」がついている項目について、追加で説明を求めます。
事務局（藤田）	【当初計画の瀬策に関する実施状況のうち、今後の方向性を「見直し」（取り組みが不十分であったり、効果が限定的であったもの）とした項目について説明】
櫻木委員	（取組4環境美化の推進（廃止）について）方向性として廃止ということだったが、市が諦めてしまってはその先には行けない。廃止してもいいじゃないかと思うこと自体が、市の方向として考え直してほしい。
事務局（志村）	取組を残すと、活動報告書を毎年度出してもらわなくてはいけなくなる。それが活動をする上で負担だという声もあり悩ましいところ。
眞田委員	現在、活動結果を出しているが、それ以外にもSNS等により活動を報告している団体がある。そういったものを活動結果としてみることはできないか。
事務局（志村）	意見の一つとして承った。
鈴木会長	ほかに意見はありますでしょうか。
木村委員	資源化について、裾野市の資源化率8.2は県内最下位ですよね。ごみ排出量は減っているの資源化率が上がっていないのは、店頭回収をしている民間企業との連携ができていないのでは。例えば民間企業でどれだけ回収ができたかという数字を反映させれば資源化率が向上するのでは。また、市民に対しても、私たちが出したものがごみではなく資源となっていくことを周知してもらえたらと思う。
事務局（杉山）	資源化率につきましては、民間ステーションに出されているものの把握ができてないっていうのも一つで、もう一方で資源化率につきましては、焼却灰を資源化すると資源化率が上がることにつながる。なのでお金をかけると資源化率が上がるっていうのが正直なところ。裾野市の場合は、自前の最終処分状を持っているので焼却灰についてはすべて埋め立て処理をしているので資源化にはならないが、それを1トン当たり何万円とかけて資源化処理すると、それがすべて資源化率に反映されるので、一気に資源化率が上がるっていうマジックもある。単純に資源化率だけ見るっていうのもなかなか難しいところがある。
木村委員	三島市では埋立地が足りなくなって掘り起こしていると聞いた。最終処分に頼るだけではなく、資源化に費用が掛かるのであれば、お金を生み出す資源化についても別に検討してもらいたい。
櫻木委員	資源化率の問題は、ごみ袋の有料化にも大きく関わってくる。資源化を増やせば燃えるごみは減ってくる。焼却灰なんかも資源化できないことはないんだけども、ものすごくお金がかかってしまって、それが果たして裾野市の財政が持つのかという疑問がある。もう少しリサイクルできる項目を考えていただいて、例えば今は生ごみ系は全部燃えるごみになっているが、それを資源化の方向に持っていくとか、あるいは難しいが紙おむつも、資源化の対象にはなっているので、もうちょっと考えてやっていった方がいいのかなと思う。それからもう一つ、燃えるごみの中に紙類が非常に多い。どこまで出してよいのか市民にとって判断がつきにくいところがあると思う。市民にとって分かり

内　容	
	やすい発信の仕方を考えていって、工夫をしてもらいたいと思う。
木村委員	発泡スチロールも売れる。ただお金を使うのではなくて、お金になる廃棄物をお金にしていけばいいかなというふうに思います。
鈴木会長	それでは、続いて４．一般廃棄物処理基本計画の見直し方針のうち、（１）ごみ処理の現状について事務局から説明をお願いします。
事務局（藤田）	４．一般廃棄物処理基本計画の見直し方針のうち（１）ごみ処理の現状 【ごみ処理の現状について事務局より説明】
鈴木会長	ただいま、事務局から説明がありました。何か質問等がありましたらお願いします。 私から一点。ごみ質の分析結果について、令和6年、令和7年の厨芥類が、その前の令和5年と比べると極端に下がっていて、紙や布類がぐっと伸びている原因とか理由はなにかあるのか。
櫻木委員	以前に比べて魚を調理することが減っている。そのほかレトルトや冷凍食品とか調理済みのものを使うので、自分の家で調理すること自体が減っている。あと、一般的に果物は生ごみが出るが、物価高等でそういうものを買えるような余裕がなくなっているのではないかというのは私の考えです。
眞田委員	あの資源化のあの実績の関係で令和3年、4年から徐々に減っているような印象がしますけど、プラスチックごみを火力燃料として還元すると言われていうことで処分量に入っているので、数字が増えてるんじゃないかと思う。プラスチックを燃やすと温暖化につながってしまうので、それをなくす意味で、いわゆるプラの再生リサイクル、燃料として使う別の方法に転換していって、リサイクルの仕方が大きく変わってるんで、多分そういうことじゃないかなと思いますね。
事務局（杉山）	プラスチックのうち、容器包装プラスチックの処理方法についてのお話だと思うんですけど、裾野市の容器包装プラスチックにつきましては、容器包装リサイクル協会の指定の事業所に持っていっています。眞田委員のおっしゃる通り、昔は北九州の方で燃料になっていたが、今は菊川市の方に持って行っている状況。カウントとしてはリサイクルされているというようなことになりますので、この資源化率への影響というのはないような形になります。
鈴木会長	続いて、４．一般廃棄物処理基本計画の見直し方針のうち、（２）課題の整理と取組の方向性について、事務局の説明をお願いします。
藤田	４．一般廃棄物処理基本計画の見直し方針のうち、（２）課題の整理と取組の方向性について 【当初計画の課題・取り組みの方向性から、5年間での取り組み実績・社会情勢の変化について報告し、今後5年間の課題と取組の方向性を説明】
鈴木会長	ただいま事務局から説明がありました。本来であれば皆さんから今後の取り組みの方向性等を議論していただくんですが、今日は時間がありませんので、今、説明があった「当初計画の課題・取り組みの方向性」や「主な取り組みや社会情勢の変化等」で、ここのことがよくわからない人は、ここを詳しく教えてほしいとかっていう部分がありましたら、それだけ聞いてください
江本委員	ごみの出し方便利帳を令和7年3月に改定と書いてありますけど、各戸に配布でしたっけ。
事務局（藤田）	内容は改定しましたが予算の都合で各戸への配布はできていない。ホームページへの掲載や、ごみ減量推進協議会が発行する「機関紙ごみステーション」で、変更点については各戸に周知をしている。
鈴木会長	各戸に配布が難しいとしても、現場にいるごみ減量推進委員には改定された冊子を渡してもいいのではないかと思う。
渡邉委員	もらって、見ても分かんないよ。
眞田委員	市公式LINEのメニューの中に「ゴミの出し方」があり、そこを押すとごみの分別検索ができるようになっているので、紛らわしいものはそれを教えてやるといいんじゃないかと思う。
渡邉委員	そういうものを現場で見せて分別を指導しても、覚えてくれる人は覚えてくれるが、そうじゃない人もいる。私も担当になったから、今一生懸命冊子を見ているけど、担当

内　容	
	じゃなければ見なかった。ルールを見せながら説明をしているけど、いまではスプレー缶は昔は穴を開けなくてもよかったり、傘も布を取らなくてよくなっているので、その都度説明するが昔の感覚で持ってくる人がいるから、現場で知っている人がいたほうがいい。
眞田委員	うちの町内会の話になるが、資源ごみの日に覗いてみると、分類が違うところに入っていることがある。私がごみおじさんのようになっていて、資源ごみを出しに行くと、これをどこにどこへ入れたらいいか分かんないんだけどっていうように聞かれることも多々あります。そのように、わかる人がやっていかないと一向進まない。
木村委員	例えば例えばフローチャートや、ゲーム化みたいな矢印に進むような、分別が合ってたら丸をつけるみたいな、携帯とかでできるゲームみたいなものを作ってもいいですし、紙ベースのここが変わったと示すものだけでも作っておくと、まず子どもにあの教育してしまうと、親は子どもから聞いて学ぶんですよね。結構頭固い大人っていうのはなかなか切り替えられないんですけれども、子どもから行くといいんですよね。年齢層の高いご家庭だとちょっと難しくなると思うので、それは紙ベースのフローチャートみたいなようなもので、こっちが正しいと示すものを作って楽しんで周知する。現場だけでこうですよ、ああですよっていうんではなくて、あらかじめ楽しみながら学べるような、簡単なものがあると難しい表とかよりはいいかなっていうふうに思います。
渡邉委員	それは理想だよ。現実は厳しい。一方を見ていると、一方で勝手に捨てていってしまう。親子で来ている世帯には、こどもに教えながらやると、子どもは一生懸命にやってくれるが、中にはそっと来て置いて行ってしまう世帯も多い。クイズもいいが現場では余裕がない。
木村委員	現場ではなく、事前にここに配布するなら表ではなく、楽しみながら学べるもの。これまで教育現場にいた経験子どもから親に伝わるところを見てきた。
渡邉委員	美化センターの焼却炉はあと何年持つのか。
事務局（志村）	お金をかけて延命化をすればしばらくは持つ。
渡邉委員	いざとなれば演習場があるのだから御殿場を見習って防衛省にお願いすればいいのでは。3市2町の取り組みを進めているということで、焼却炉がもうすぐ壊れてしまうものかと思っていた。
環境市民部長	維持修繕をしながらやっているが、40年近くたっており部品の調達が難しくなっているところもあり、維持が大変になってきている。
鈴木会長	時間もだいぶ過ぎてしまったものですから、（２）課題の整理と取組の方向性についての説明と、それに対する質疑まで終わりました。次回は、一番大事な取り組みの方向性を議論していただきます。先ほどの説明をもとに、それぞれの方が思ったことや、今日配布した資料を見て、この部分の、ここはこうしたらいいんじゃないかなどを議論していただきたいなと思います。あと、５．生活排水の処理についても次回の議論ということにさせていただきます。
事務局（志村） 事務辱（藤田）	９．その他　次回審議会と今後のスケジュールについて 【事務局が示した候補日から、委員の予定を確認し、以下の日程に決定した。】 第2回審議会　令和8年12月8日（火）15：00～ 【第2回以降のスケジュールと内容について事務局から説明】
環境市民部長	10．閉会 長時間にかけて委員の皆様ありがとうございました。初回ということで、計画の立て付けから始めさせていただいて、担当の説明が不慣れで、時間が遅くなってしまったところは大変申し訳なかったなと思っております。 ただやはりこの計画の立て付けをしっかり理解していただいた上で進むと、次回以降はスムーズかなと思って説明させていただきました。課題整理等で事務局でまとめましたが、これに関わらずいろんな意見いただきたいと思います。それらをこちらの方で整理していきますので忌憚のない意見をぜひいただきたいと思います。 また、生活排水に関する計画は、今日は説明ができなかったので、次回は12月8日ま

内　容	
	でに目を通していただくと嬉しいと思います。全4回というところで、スケジュールがタイトですけど、今日みたいにいろんなご意見を言っていただければと思います。引き続きよろしくお願いします。